

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|----|-----|-------------|----------|
| 1 | 17分 | 瑞慶覧 功(おきなわ) | 知事 関係部長等 |

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 東日本大震災、福島原発事故による避難者支援について

ア 福島原発事故の自主避難者への住宅支援打ち切りについて、避難者の会と沖縄弁護士会から支援延長を求める要請と声明が行われた。「多くの避難者は子供たちを放射能の被曝から守るために沖縄での避難継続を希望している。国や福島県が支援を打ち切る以上、沖縄県にお願いするしかない。」と悲痛な訴えをしています。ウチナーの命どう宝、イチャリバチョーデーの精神で支援すべきだと思います。知事の見解を伺います。

(2) 避難者の会から要請があった7項目についての対応を伺います。

2 福島原発事故による放射能、被曝対策について

(1) 3.11福島原発事故から5年半が経過した放射能による被害は100年続いても消えないと言われる。日本の人口減少が当初予想された年間10万人が、原発事故以降25万人にふえ続け難病患者は2倍に、自然死産率13%増、そして福島の小児甲状腺がんの75%は放射線に起因すると言われている。今なお放射能は事故原子炉から空気中や海水中に放出されている状況であるにもかかわらず、政府は帰還政策を進めている。沖縄県における放射能汚染対策について伺う。

(2) 小さい子供ほど、放射能による健康被害を受けやすいといわれ、食事による内部被曝の危険性がある。保育園、幼稚園、小中学校の給食食材の安全確保、対策について伺う。

(3) 日本の流通許可基準は100ベクレルとなっているが、ドイツの大人8ベクレル、子供4ベクレルに比べ高く、専門家は健康を守る上でとても危険と指摘している。県の基準はどうなっているのか。スーパー等での食材の安全確保、対策について伺う。

3 基地問題について

(1) 嘉手納基地の航空機騒音について

ア 県、嘉手納町、沖縄防衛局の測定調査によるといずれも騒音が激化している。外来機の飛来が原因となっているが、その実態と県の対応を伺う。

イ 外来機の飛来、暫定配備の要因は沖縄に広大な訓練空域・水域・実弾射撃場が集中しているからである。アメリカ政府に直接返還を求めるべきではないか見解を伺う。

ウ AV8Bハリヤー墜落について

(2) 嘉手納基地の軍民共同使用について

県経済のさらなる発展のために、軍民共同使用を求めていく必要があると思う。全国における軍民共同使用の実態と県の見解を伺う。

(3) 米軍基地に関係する公共事業の遅滞について

ア 道路整備事業で工事の進展が滞っている。宜野湾北中城線と北谷町の県道24号線バイパスの事業概要と課題、対応策を伺う。

イ 河川改修事業で事業の進展が滞っている。白比川と比謝川の事業概要と課題、対応策を伺う。

4 やんばる国立公園の世界自然遺産登録について

政府は2018年をめどに世界自然遺産登録を目指すとしているが、自然保護団体の関係者からは隣接する米軍北部訓練場の影響や辺野古新基地建設が行われた場合に土砂搬入による外来種混入のおそれ等から、登録に対し非現実的との懸念を示している。県の見解を伺う。

5 こども医療費助成について

子供の医療費を病院窓口で立てかえ払いせずに済む「現物給付」について、南風原町が来年1月に実施する方針を発表し、評価されている。県の対応と課題、今後の方針を伺う。

6 沖縄県の最低賃金について

- (1) ことし10月1日から沖縄県の最低賃金が714円となる。県民生活、県経済に与える影響について伺う。
- (2) 県は、県や市町村が発注する公共事業で働く人たちの適正な給料を保障するルールを来年度に県議会へ提案する方針とのこと。概要を伺う。

7 第6回世界のウチナーンチュ大会について

- (1) プレイメントとして第5回世界若者ウチナーンチュ大会が開催されるが、この機会に知事が沖縄の歴史・文化、そして現在の基地問題を初めとする沖縄の課題と将来の展望を語ってはどうか、見解を伺う。
- (2) 担当部署は大会開催までテーマソングやマスコットキャラクターを活用しながら、県内各地で広く県民に向けたPRイベントを開催していくとしているが、私はテーマソングもマスコットキャラクターもまだ知りません。県民に向けてのPR活動について伺う。

8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|----|-----|--------------|----------|
| 2 | 17分 | 西銘 純恵(日本共産党) | 知事 関係部長等 |

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 辺野古新基地建設問題について

- ア 辺野古違法確認訴訟の判決が出た。司法の役割を放棄して安倍政権に屈服した不当判決に怒りをもって抗議する。翁長知事は「法の番人としての役割を期待したが、政府の追認機関となったことに大変失望した。辺野古新基地をつくらせない信念で頑張る」と述べ、県民の結束を訴え、最高裁に上告した。県民は知事を支えて決して新基地はつくらせない。辺野古埋立承認の撤回について、知事の見解を伺う。
- イ 2014年8月、前知事が岩礁破碎申請を許可したが、現状はどうなっているか。期限後の新たな許可申請に対する対応を伺う。
- ウ 名護市が沖縄戦の体験者の証言をまとめた市史を発行した。キャンプ・シュワブ内の住民収容所や今帰仁村の墓地も図示されている。埋葬された肉親を追悼したいと基地内調査を求める県民がいる。県は今帰仁村墓地一帯を調査すべきではないか。基地内調査について伺う。
- エ 辺野古埋め立ては、10トントラック310万台の土砂を投入する計画である。絶滅の危機に瀕しているジュゴンなどは保護されるか、生物多様性の大きな大浦湾は守れるのか見解を問う。そのうち県外から280万台の土砂を搬入するが、搬出予定地域で発見された外来種はどのようなものがあるか。アルゼンチンアリが辺野古に侵入したらどのような被害が想定されるのか伺う。事前に環境影響評価を求めるべきではないか。県外から土砂を運び入れないことが完全な侵入防止策ではないか。国際自然保護連合が日本政府に勧告した内容について

(2) 東村高江のオスプレイパッド建設問題について

- ア 稲田防衛大臣の命令によって、自衛隊ヘリを出勤させ重機や物資搬入に使用しているが、自衛隊法や防衛省設置法に根拠のない、防衛大臣が法の上に立つ法治主義を踏みにじるものだと考えるが、知事の見解を問う。
- イ 9月15日に国立公園に指定され、世界自然遺産登録を目指すヤンバル地域は米軍北部訓練場に隣接している。世界自然遺産登録を目指す県の見解について
- ウ 日米環境基準(JEGS)は、ヤンバルクイナやノグチゲラを保護対象にしているというが、高江にオスプレイパッドが建設されて訓練場が強化されたら保護できなくなるのではないか。
- エ ヤンバルの森に幾つのダムがあり、県民や観光客の何万人分の水がめとなっているか。宜野座村での米軍機事故で、どのような被害が起こったか。

2 教育行政について

(1) 就学援助の拡充に向けた市町村の取り組みを伺う。

- (2) 就学援助金が数カ月まとめて後払い支給されて困っているとの声があるが、実態と改善策を伺う。
 - (3) 教師の多忙化解消の切実な願いに応え、子供たちに寄り添う教育を実現するために、超過勤務の実態を把握し改善する取り組みはどうなっているか。部活などに外部指導者を配置すべきと考えるが対策を伺う。
- 3 子供医療費の自動償還払いの市町村での実施状況を伺う。また、手持ち金がなくて医者にかかれない現状を改善するために、貸付制度を実施する市があるが、県はいつ現物給付を行うのか。九州での現物給付の実施状況を伺う。
- 4 市町村の子供の貧困調査の状況を伺う。県は乳幼児期の保護者、高校生などに対象を拡

大して貧困調査を行う必要があるのではないか。追加調査の時期と内容を問う。

5 学童保育の拡充について

- (1) 大規模学童の実態と待機児童数。公設計画に対する実績。教育委員会との調整を県が援助して公設化を急ぐべきではないか。
- (2) 貧困対策で保育料の軽減を行う市町村数、対象となる児童数。
- (3) 障害児受け入れについて、複数児童の受け入れに補助金の増額を求める声がある。増額を検討することについて。

6 保育行政について

- (1) 公立保育所の民営化が各地で問題になっているが、政府が児童福祉を改悪し、保育に対する公費負担を削減してきたのが根本原因ではないか。政府に保育所建設費、運営費などの公的支援の復活・拡充を要請することについて。
 - (2) 認可保育園を増設して、保育士の給料引き上げ、処遇改善を行い保育の量的、質的改善を行うべきである。建設費高騰が認可保育園建設に及ぼす影響、対応策を伺う。未利用の国有、県有地を活用することについて伺う。未利用県有地の状況はどうか。
- 7 がん対策推進協議会の第2次がん対策推進計画に対する中間評価案の協議が行われ、がん治療費用の負担を理由に治療変更や治療中断が沖縄県は全国を上回ると報道された。実態と見解及び対策を問う。
- 8 労働者不足、労務費の高騰などで県立八重山病院建設事業にどのような影響が出ているか。離島増嵩費として、一般会計からの補助や繰り入れを行う必要があるが、病院事業局長と総務部長の見解を伺う。医療機器の購入費も離島・北部地域の振興予算を活用すべきと考えるがどうか。
- 9 浦添市道勢理客内間線と勢理客線の交差道路、シーサー通りの信号機設置について、地元住民や自治会長から要請を行い、去る6月議会でも質問したが、進捗と設置時期について伺う。
- 10 浦添市内間の渚マンションA棟は、廊下が崩落し危険な状態で放置されている。これまでの対策を伺う。住民の安全確保のために、空家等対策の推進に関する特別措置法の特定空家条項を適用して、早急な対策を検討すべきではないか。
- 11 浦添市勢理客の崩落地域の急傾斜崩落危険区域指定と安全対策について、進捗と対策工事の時期について
- 12 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|----|-----|------------------|----------|
| 3 | 17分 | 狩俣 信子(社民・社大・結連合) | 知事 関係部長等 |

質 問 要 旨

1 高江ヘリパッド工事について

- (1) 工事現場の立ち木の伐採状況について、県としての確認はどうなっていますか。
- (2) 高江の工事現場における県警・機動隊の過剰警備に批判の声が上がっています。公安委員会が他県の警察機動隊を依頼したようですが、その結果多くの負傷者が出ています。現場にいる反対運動の皆さんも他県からの機動隊は手荒いと言っています。地上戦の体験や戦後71年に及ぶ米軍基地から派生するさまざまな事件・事故を体験してきた沖縄県民は、戦争に結びつくこれ以上の基地の負担を受け入れることはできません。この切実な県民の思いを他県からの機動隊の皆さんは理解できないのではないのでしょうか。87歳の島袋文子さんが顔をゆがめている新聞写真は見るにたえません。これ以上人が人をふやさないためにも早急に派遣を断るべきです。県と公安委員会の見解を求めます。
- (3) これまで高江ヘリパッド建設反対で出たけが人と救急搬送された人は何人ですか。逮捕者は何名ですか。逮捕の理由は何ですか。
- (4) 公安委員会として他県の警察機動隊を依頼したようですが、その結果多くの負傷者が出ています。辺野古新基地反対のときを見てもわかるように当然予測できたことだと思います。公安委員の皆さんはその依頼文書に持ち回りで印鑑を押したと言われていますが事実ですか。
- (5) 高江の視察に行ったとき、突然福岡県警を名乗る男性から車の前にストップの旗を出され車をとめられました。免許証の提示を求められ半分強制的に免許証を提示させられました。福岡県警の行為は許されるのでしょうか。また、前に車を出そうとしたら前方は混雑していて危険ですのでここから引き返してくださいと言われてました。そのまま前に行きますと言って前進しましたが、前方は混雑しておらず、危険でもありませんでした。このような警察の行為の根拠を示してください。

2 県立八重山新病院について

- (1) 2回も入札が流れた上、離島であるために働き手が探せないというジレンマに陥っていて建築費が大分高騰しているとのこと。これを全て八重山病院に負担させるとなるとスタートから多額の借金を抱えることになり、厳しい経営になろうかと心配しています。最南端の県立病院として県民の命を守るためにしっかりした支えが必要かと思いますが県の対応を伺います。

3 ひきこもりについて

- (1) 厚労省の発表ではひきこもりが54万人余とのこと。県内の実態調査が必要だと思いますがいかがですか。国は39歳までの調査のようですが、ひきこもりの人は高齢化しており沖縄では全部を入れての調査が必要です。
- (2) 10月3日に南風原にひきこもり支援センターが開設されるとのこと。保護者の皆さんは喜んでいました。それと合わせて本人たちが行ける居場所と支援員がぜひ必要と切望していました。社会に出ていけない子、自信喪失の子、人の顔が見れない子等状況は一人一人違います。親だけでは対応が難しいため「ひきこもり連絡協議会」を県として立ち上げてもらいたいとのことでした。県としての取り組みを伺いたい。
- (3) ひきこもりの背景に精神的疾患や発達障害があるのではないかという考えが出ています。それだけに早目の診断や取り組みが必要だと思いますが県としての対応を伺います。

4 教育関連について

- (1) 教職員採用試験の一次試験免除について臨時任用での経験が「平成21年4月から平成28年3月までの間に通算60月以上有している事」としていますが、男性はそれでいいかもしれませんが、女性については配慮が必要ではないですか。この50年の間で妊娠して4

から5カ月不足したらその人は一次試験が免除されません。

5 児童虐待について

(1) 児童虐待がふえているようで心配です。県内の実態はどうなっていますか。

6 街路樹について

(1) 街路樹の選定はどのように行われていますか。先日県民から沖縄の気候風土に合ったものを選定してほしいとの声がありました。

(2) 予算はどのようになっていますか。

7 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|----|-----|--------------|----------|
| 4 | 17分 | 渡久地 修(日本共産党) | 知事 関係部長等 |

質 問 要 旨

1 辺野古違法確認訴訟について

- (1) 沖縄の苦難の歴史と基地あるがゆえの苦しみに全く目を向けず、県民の民意を否定した不当判決ではないか。
- (2) 辺野古新基地は絶対につくらせない、知事の決意を伺う。

2 辺野古新基地をつくらせないための知事権限について伺う。

3 辺野古新基地をつくらせないという名護市長の権限について伺う。

4 東村高江の着陸帯、オスプレイパッドの強行建設について

- (1) 負担軽減と言いながら、実態は、耐用年数200年の辺野古新基地と連動したオスプレイパッドの建設、自衛隊との共同使用を目的とした水陸空一体の最強の訓練基地の建設ではないか。
- (2) オスプレイ配備撤回を掲げる県政として容認できないのではないか。
- (3) G地区は、ヤンバルの森で一番自然環境を保護しなければならない地区だと、環境アセスで指摘されているのではないか。そこで、違法な伐採、工事が強行されているが中止させるべきではないか。
- (4) 県警による違法な道路封鎖などの過剰警備、警察車両による違法な作業員運送、自衛隊法違反の自衛隊機の投入などの違法行為の連続について県知事の見解を問う。

5 沖縄県公安委員会の役割について、以下、公安委員長に問う。

- (1) 公安委員会制度が設けられた理由、目的と県公安委員会の役割について
- (2) 高江の警備について、公安委員会でのどのような議論がこれまでなされたか。
- (3) 県公安委員会は選挙で示された県民の民意を尊重すべきと思うが、見解を問う。
- (4) 7月10日の参院選挙で高江ヘリパッドと辺野古新基地建設反対を訴えた候補者が10万票差の大差で圧勝したが、その翌日の早朝に県警機動隊を動員して、県道を封鎖して防衛局の工事強行を手助けしているが、これは民意を否定、無視したものではないか。
- (5) 沖縄への他都府県からの機動隊の出動は、琉球処分時の軍隊の派遣、米軍占領下の銃剣とブルドーザーでの基地接收を想起させるもので、県民の感情を逆なでしている。県外機動隊は直ちに引き上げさせるべきである。
- (6) 沖縄県公安委員会は県警本部の追認機関となっており形骸化していると県民からの批判が多く寄せられているが、なぜだと認識しているか。

6 オスプレイ訓練による自然環境の攪乱について

- (1) ハワイでは、オスプレイの訓練でコウモリや鳥獣及び文化財に影響があると指摘され、2カ所の飛行場での訓練が中止になったとのことだが、その詳細について問う。
- (2) ハワイでは中止し、沖縄ではやりたい放題である。アメリカの二重基準について見解を問う。
- (3) 沖縄本島のコウモリは絶滅危惧種に指定されているのではないか。共産党県議団の調査で、オスプレイの訓練の激化によって、その周辺でコウモリが消えるなど、自然環境の攪乱が発生していることを明らかにし、県としての調査と対応を申し入れたが見解を伺う。
- (4) 高江では判明しているだけでもノグチゲラのバードストライク(衝突死)が4羽発生しているが見解を問う。
- (5) オスプレイの訓練による児童生徒や住民の健康被害への影響についての調査結果を問う。

7 沖縄の戦後について

- (1) 米軍は、さきの大戦中に、住民を収容所に囲い込んで勝手に住民の土地を取り上げ、その後も銃剣とブルドーザーで土地を取り上げ、現在の米軍基地を形成した。今なお、0.6%の国土面積の沖縄に74%の米軍専用施設が集中させられ、その基地によって県民の命と財産、人権が脅かされている。戦争中に奪われた土地に米軍基地が居座っている限り、沖縄の戦後は終わっていないと思うが知事の見解を伺う。

8 沖縄振興予算について

- (1) 基地とのリンク論を公然と政府が唱え出したが、復帰時の沖縄振興開発特別措置法の立法の趣旨に反するものではないか。
- (2) 沖縄県は、基地があるから国から多くの予算をもらっているとの恣意的な宣伝によって多くの国民が誤解をしていると思うが、これを払拭するための県の対応を伺う。
- (3) 沖縄振興予算が内閣府一括計上方式によるため、その分多くもらっているという誤解をなくすための県の対応を伺う。同時に、政府として国民に説明する責任があると思うが、知事として政府に要請すべきである。
- (4) 米軍基地は沖縄と沖縄経済発展の最大の阻害要因である。米軍基地がなくなれば沖縄はもっと発展することを大いにアピールすべきである。
- (5) 地方自治法の改正で、国と地方が対等・協力関係になったというのであれば、今の予算編成のあり方も変わるべきである。予算編成でもいまだに国が上位で地方自治体は下位にあるとのやり方である。全国知事会に提起すべきではないか。

9 モノレール駅の故障への対応について

- (1) 縦割り行政の弊害の典型だと思うが、対応と見解を伺う。
- (2) 県政全般でもこのような弊害をなくすために教訓を生かしていくべきである。対応を伺う。

10 商工労働部、農林水産部、教育委員会の連携によって、洗浄機に耐えられる学校給食用漆器が開発され、使用した子供たちも喜び、関係者の期待も高まっているが、学校給食への本格的な導入について伺う。

11 我が党の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|--|-----|------------------|----------|
| 5 | 17分 | 宮城 一郎(社民・社大・結連合) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| <p>1 北部訓練場ヘリパッド工事警備にかかわる沖縄県外警察職員の援助について</p> <p>(1) 沖縄県外警察職員の援助要請に際し、本来なされなければならない必要な手続、またこのときの手続の主体は誰(組織)なのか御教示いただきたい。</p> <p>(2) 今回の県外警察職員の援助要請について、(1)の手続がとられたのかお聞かせいただきたい。</p> <p>2 キャンプ瑞慶覧(西普天間住宅地区)について</p> <p>(1) 2013年4月開院の在沖米海軍病院から約200メートル北に、ヘリコプター発着帯らしき映像が見られることについて</p> <p>ア ヘリコプター発着帯の有無を御存じであれば伺いたい。</p> <p>イ ヘリコプター発着帯の存在が事実の場合、その使用目的、使用機種の主たる所属、使用機種を伺いたい。</p> <p>(2) 西普天間住宅地区跡地利用計画について</p> <p>ア 計画策定、推進に当たり、国、沖縄県、宜野湾市のこれまでのかかわり方、連携についてお聞かせいただきたい。</p> <p>イ ゾーニング、利用計画、利用施設等、現時点で予算確保も含めて実施が確定している事業があればお聞かせいただきたい。</p> <p>3 主権者教育について</p> <p>(1) 参議院選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられたが、県内高等学校(公立・私立)において、授業として「主権者教育」に取り組んだ学校はあるか。また、あればどのような取り組みがあったかお聞かせいただきたい。</p> <p>(2) 主権者教育の授業をアウトソーシング、または外部の手をかりて行った事例があったか伺いたい。</p> <p>(3) 外部の手をかりた場合、教師は授業をマネジメントできていたか伺いたい。</p> | | | |

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---|-----|--------------|----------|
| 6 | 17分 | 嘉陽 宗儀(日本共産党) | 知事 関係部長等 |
| 質問要旨 | | | |
| <p>1 米軍基地問題について</p> <p>(1) 辺野古新基地建設違法確認訴訟の判決について、その不当性を徹底して県民に明らかにし、県民の世論と運動で包囲していく粘り強い取り組みが求められていると考える。知事の決意を伺う。</p> <p>(2) 今回の判決は、まさに沖縄切り捨て策で、県民の命をないがしろにするもので絶対に許されない。知事の所見と今後の決意を伺う。</p> <p>(3) 北部訓練場へのヘリコプター着陸帯移設事業について、その計画と事業の進捗状況について明らかにしてください。</p> <p>(4) 赤土防止条例に基づく対策はどうなっているか。具体的に報告せよ。</p> <p>(5) N1地区のヘリパッド造成工事によって木の伐採が行われ、赤土対策も行われず赤土が流出しているが、対策はどうなっているか。</p> <p>2 米ハリアー墜落問題について</p> <p>(1) 墜落の原因を徹底して究明し嚴重に日米政府に抗議すべき、決意を伺う。</p> <p>(2) 今後、県内の上空について、飛行禁止を求めるべきではないか。</p> <p>3 県公安委員会の業務内容について</p> <p>(1) 警察組織への指導監督は具体的にどのように行っているか。</p> <p>(2) 警察組織の日常業務を掌握する事務局体制はどのような状況になっているか。十分に機能しているか。</p> <p>(3) 今回の高江などにおける警備について、県民からの大きな批判が寄せられているが、警察内部におけるチェック機能はあるのか。</p> <p>(4) 住民への不当弾圧によって多くのけが人が出ている。今の実態は目に余るものがある。警察は今の事態を正常な業務になっていると考えるか。</p> <p>(5) 警察の指導監督の任にある公安委員長責任は極めて重大だと考える。所見を伺う。</p> <p>4 泡瀬干潟問題について</p> <p>(1) サンゴの生息状況はどうなっているか。</p> <p>(2) ダンダラマテガイについて、適地に移動させる方針のようだが、適地という保証は誰が判断するのか。</p> <p>5 沖縄市池原の産業廃棄物最終処分場の地下水汚染の実態はどうなっているか。汚染水の対策はあるのか。</p> <p>6 我が党の代表質問との関連について</p> | | | |

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---|-----|-------------|----------|
| 7 | 17分 | 上原 正次(おきなわ) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| <p>1 教育・福祉行政について</p> <p>(1) 情緒障害児短期治療施設について</p> <p>ア 情短施設の設置に向けた進捗状況等、開所までのスケジュール案について伺う。</p> <p>イ 施設の設置及び運営主体について伺う。</p> <p>ウ 施設利用者の地域制限の有無について伺う。</p> <p>エ 小中学校の分校のあり方について伺う。</p> <p>オ 地元の意向について伺う。</p> <p>2 米軍犯罪対策について</p> <p>(1) 沖縄県における犯罪抑止に関する対策について</p> <p>ア 米軍施設・区域は北海道から沖縄県まで全国128施設ありますが、都道府県単位の軍属を含む米軍関係者による犯罪発生件数を伺う。</p> <p>イ 「沖縄県における犯罪抑止に関する対策について」の文面を見ると政府一丸となって沖縄県民の安全・安心の確保を図るため、安倍内閣としての「できることは全てやる」の方針のもと、以下の対策に迅速に取り組む表現があり、対策の主体は政府と読み取れますが当局の考えはどうか伺う。</p> <p>ウ 沖縄県における犯罪抑止対策推進チームが示した犯罪抑止に関する対策として「防犯パトロールの強化」が示されています。沖縄県警の対応状況を伺う。</p> <p>エ 犯罪抑止対策推進チームが出した文書では、政府が主体的に対策に取り組むとの考えが示されていることから、防犯パトロールについても県内防犯協会を含めた県民で構成する各種ボランティア団体に仕事をさせるのではなく、政府が非常勤職員等を直接雇用してパトロールに当たるものと理解してよいか伺う。</p> <p>オ 「沖縄県における犯罪抑止対策推進チーム」は、うるま市で発生した米軍関係者による身勝手に凶悪きわまりない事件を踏まえ、政府一丸となって沖縄県民の安全・安心の確保を図るため、安倍内閣として「出来ることは全てやる」方針のもと、政府は本年5月26日に内閣官房長官を長として本チームを設置しています。同チームから示された対策であれば、米軍基地問題であると素直に捉えるべきと考えます。米軍基地問題に端を発した犯罪抑止対策は県民に、そして県内市町村に負担が生じることはないよう政府が主体的に対策を講じるよう、さまざまな場面で訴えるべきであると考えますが県の見解を伺う。</p> <p>(2) 安全・安心な環境の整備として防犯灯や防犯カメラの設置について犯罪抑止対策推進チームが出した文書では、補助メニューの活用は一般的に県・市町村の負担を伴うものと理解しますが、その負担分は政府が全て見るとの理解でよいか伺う。</p> <p>3 環境・農業行政について</p> <p>(1) 循環型社会の構築に向け、農業用水への活用を目的に糸満市浄化センター(下水処理場)での農業用リサイクル水(再生水)の実証研究事業が行われています。渇水対策とし農業振興、農家の所得向上につながるものと期待されます。そこで伺います。</p> <p>ア 事業の進捗状況について伺う。</p> <p>イ 今後の取り組みと課題について伺う。</p> <p>4 我が会派の代表質問との関連について</p> | | | |

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|----|-----|------------------|----------|
| 8 | 17分 | 照屋 大河(社民・社大・結連合) | 知事 関係部長等 |

質 問 要 旨

1 県民の過重な基地負担について

(1) 辺野古違法確認訴訟判決について

ア 判決は「普天間飛行場の被害を除去するには本件新施設などを建設する以外にない。建設をやめるには普天間飛行場による被害を継続するしかない」と断定した。「辺野古新基地建設を認めるか、普天間飛行場による被害を認めるか」と二者択一を迫り、沖縄に基地があることを当然とする構造的差別を正面から認める内容について知事の見解を伺う。

イ 公有水面埋立法に基づく知事の承認権限について、「審査対象に国防・外交上の事項は含まれるが、これらは地方自治法などに照らしても国の任務に属する。国の判断に不合理な点がない限り尊重されるべきだ」としており、県民の公益性よりも国益を優先するとの内容である。「国と地方の関係は対等」とする地方分権の流れにも逆行するものである。知事の見解を伺う。

ウ 今後の辺野古新基地建設阻止への知事の決意を伺う。

(2) 嘉手納基地や普天間飛行場における外来機による爆音被害や墜落事故について

ア 去る9月22日、米空軍嘉手納基地を飛び立ったAV8ハリヤー戦闘攻撃機が辺戸岬の東153キロ沖で墜落した。墜落機はノースカロライナ州の海兵隊航空基地所属で、米海兵隊岩国基地から飛来した外来機である。墜落事故に関する県の対応について伺う。

イ 県は、嘉手納基地や普天間飛行場周辺で実施した2015年度実施の航空機騒音測定調査結果について、いかなる分析を加えているか。米軍に起因する爆音被害は前年と比べ改善傾向にあるかどうか、特徴的な点とあわせて伺う。

(3) 普天間飛行場の補修事業について

防衛省は去る8月19日、普天間飛行場で老朽化が進んでいる格納庫や管理棟、兵舎、貯水槽など19施設を補修すると発表した。

ア 対象施設の内訳、工事期間、予算、法的根拠など補修事業の詳細について、防衛省からいかなる説明を受けているか。

(4) 普天間飛行場への軍用機追加配備等について

米海兵隊は去る9月16日、カリフォルニア州からMV22オスプレイ2機、CH53大型ヘリ1機、UH1Yヘリ3機の計6機を岩国基地へ搬入し、「沖縄に向かう」と発表した。

ア 事実関係について県は把握しているか伺う。

(5) 返還予定の米軍基地に関係する道路整備事業について

環境補足協定等がネックとなり、米軍基地内に立入調査ができず、県の道路整備や河川改修事業に滞りが出ているようだ。

ア 事業を進めるに当たって、具体的にいかなる支障が出ているのか、各事業の概要とあわせて伺う。

(6) 米軍北部訓練場高江ヘリパッド建設について

ア 警備体制をしくに当たり、県警機動隊だけでは不足していると判断した理由及び全国から500人規模の機動隊員を応援要請するに至った理由を県警に伺う。

イ 7月11日以降、米軍ヘリパッド建設工事に関する警備のために投入された予算総額は幾らか。

ウ 500人規模の県外からの機動隊員が投入され、県警機動隊とあわせて800人とも言われる人員が、高江の現場で県民と対峙している光景は異常そのものであると考えるが、知

事の所見を伺う。

- エ 米軍属による女性暴行殺人事件を受け、決定された「警察官100人の増員とパトカー20台の増強」体制はいつから実施されているのか。高江の現場に投入されているのではないか、運用状況を県警に伺う。
- オ 機動隊が地元2紙の記者を強制排除する行為が取材妨害に当たり、憲法に定める表現の自由(報道の自由、取材の自由)を侵害しているとして、県内のみならず国際社会(外国人特派員クラブ、NGO「反差別国際運動(IMADR=イマダー)など」)から批判されている事実をどのように受けとめているか。知事、県公安委員会委員長、県警本部長それぞれの所見を伺う。

2 子供の貧困について

- (1) ひきこもりや非行等の状態による不登校児童生徒への支援体制について伺う。
- (2) 母子・父子家庭のうち生活困窮世帯への自立支援の状況について伺う。

3 難病と闘う子供たちに公的支援を

- (1) 拡張型心筋症のため、心臓移植が必要な森川陽茉莉ちゃんを救おうと多くの県民の善意が寄せられている。同じく拡張型心筋症でことし2月に渡米し、心臓移植手術を受けた翁長希羽ちゃんへの寄附の余剰金が「ひまりちゃんを救う会」に寄附されるなど、ここ数年、県内では似たような支援形態をつなぐ形で4人の子供たちの命を県民の募金が救ってきた。今回の陽茉莉ちゃん5人目である。今後も難病を抱える我が子の命を救おうとわらをもつかむ思いで助けを求めて立ち上がる親御さんが出てくることだろう。これまで県民の善意でつながれてきた命のバトンを基金化するなど公的な形で支援するすべはないか。ぜひ県として検討してもらいたい、知事の考えを伺う。

4 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成28年第4回沖縄県議会(定例会)

10月03日(月)

| 順位 | 時間 | 氏名(会派) | 答弁を求める者 |
|---|-----|-------------|----------|
| 9 | 17分 | 平良 昭一(おきなわ) | 知事 関係部長等 |
| 質 問 要 旨 | | | |
| <p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 辺野古違法確認裁判判決について知事の見解を伺う。</p> <p>(2) 高江警備の警察の政治的利用の疑念について知事の見解を伺う。</p> <p>(3) 高江ヘリパッド建設工事による違法性のある森林伐採について、知事の見解を伺う。</p> <p>(4) 米海兵隊ハリヤー戦闘攻撃機墜落について知事の見解を伺う。</p> <p>2 認定こども園の有効活用について</p> <p>過疎地域等において、幼稚園と保育所を単独で設置することが困難な場合の集団保育ができるメリットをどう生かしていくか。県の取り組みを伺う。</p> <p>3 沖縄海水揚水発電所廃止について</p> <p>国家プロジェクトで進められてきた実験施設をいきなり廃止と言うことはおかしい。その背景、経緯について伺う。</p> <p>4 低炭素島しょ社会の実現について</p> <p>(1) 今後の水素発電について県の考え方を伺う。</p> <p>(2) 無秩序な太陽光パネル設置で諸問題が起きている。その対応策について伺う。</p> <p>5 へき地保健医療対策の推進について</p> <p>(1) 巡回医療航空機の新設についての県の対応を伺う。</p> <p>(2) へき地患者輸送車・艇・航空機(回転翼・固定翼)運行支援事業について伺う。</p> <p>(3) 救急救命センターの指定要件について伺う。</p> <p>6 沖縄2020事前キャンプ等誘致計画について</p> <p>7 我が会派の代表質問との関連について</p> | | | |